

# 通 告 質 問 一 覧 表

(平成28年3月定例市議会)

順 位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1	2	14 番 植 田 二 郎	1 近藤市長の政治姿勢を問う (1) 次期市長選挙への出馬意思を問う
2	4	9 番 宮 田 好 夫	1 暮らしを支える仕組みについて (1) 国の平成 28 年度地方財政計画では、新たに重点課題対応分として 2,500 億円が計上され、地域の暮らしを支える仕組みづくりの推進に 500 億円割り当てている。本市はどのような施策を考えているのか 2 国保の広域化について (1) 平成 29 年度の広域化に向けて協議が進んでいると思うが、どのような状況にあるのか 3 定住促進について (1) 本市の定住促進施策は充実しており、他県からの移住者も多い。しかし、転出も相当数あり社会減は進んでいる。そこで、市外から市内に通勤している人に焦点を当てた施策を行えば効果があるのではないか 4 LED防犯灯設置事業について (1) 平成 28 年度の予算にLED防犯灯設置事業補助制度が含まれていない。なぜ廃止したのか
3	5	4 番 黒 川 康 司	1 定住促進について (1) 高梁市の定住促進については、総合計画の中で最も重点を置いたプロジェクトだと思うが、120 名もの市職員が市外へ居住し通勤している状況について、市長としてどのように捉えているのか問う 2 備中診療所及び平川診療所の運営について (1) 備中診療所及び平川診療所の指定管理を受けている旭川荘が平成 28 年 3 月をもって撤退する。今後どのように医療提供を行っていくのか問う 3 病後児保育事業について (1) 平成 28 年度からの新規事業である病後児保育事業の実施場所及び内容について問う

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
4	1	6 番 森 田 仲 一	<p>1 旧吹屋小学校整備事業について</p> <p>(1) 旧吹屋小学校の保存修理工事について、現在の進捗状況を問う</p> <p>(2) 保存整備後には、国指定重要文化財の指定を目指すとは表明されているが、保存整備事業の全容を映像に残しておくことが重要と考えるがどうか</p> <p>(3) 国指定重要文化財の指定に向け、国への働きかけは最重要と考える。旧吹屋小学校単体でなく重要伝統的建造物群保存地区に選定されている町並みも含め、周辺施設を一体とした指定を目指すべきと考えるがどうか</p> <p>2 地域の食と農業、景観を生かした観光戦略について</p> <p>(1) 平成 24 年度に立ち上げた観光戦略アクションプランも 4 年が経過し、具体的アクションの取り組みが進んでいるが、プランに掲げたアクションの進捗状況と成果について問う</p> <p>(2) 農林水産省が 2016 年度認定を目指している「食と農の景勝地（仮称）」の実施要領が出されている。高梁市は人口減少対策の重要施策として交流人口の増を掲げているところであり、次年度での認定に向け早急に取り組むべきと考えるがどうか</p>
5	6	19 番 難 波 英 夫	<p>1 市民の暮らしと健康を守る国民健康保険の運営について</p> <p>(1) 国保の県単位化が一年延期されたと聞く。理由は何か</p> <p>(2) この際、市民の声が届かなくなる県単位化はやめるよう求めてはどうか</p> <p>(3) 市民の暮らしが厳しい中である。国保税の引き下げを求める</p> <p>(4) 子ども医療費無料化に対する国保の国庫負担金減額調整措置をやめるよう国に求めること</p> <p>2 高齢者の命綱である介護保険について</p> <p>(1) 法律改正によって要支援者は給付事業から除外されるが、具体的対応について問う</p> <p>① サービス打ち切りには本人の同意は要らないのか</p> <p>② 入浴サービス、訪問介護を受けている人はどうなるのか</p> <p>③ 介護専門職員にはどのような影響があるのか</p> <p>(2) 介護予防・日常生活支援総合事業が進められている。内容について問う</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
5	6	19 番 難 波 英 夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 要支援者と 65 歳以上の高齢者がともに事業対象者であるが、違和感や問題は起きないのか</li> <li>② 介護認定において申請者の意見が十分生かされる体制はとれるのか</li> <li>③ 介護予防を必要とする人をサービスから遠ざける結果とならないのか</li> <li>④ 総合事業に必要な予算は十分確保されるのか</li> </ul> <p>(3) 法律の改正は介護事業所の経営に影響が大きいのではない か</p> <p>(4) 介護保険料、利用料の軽減は図れないのか</p> <p>3 農林水産物に対する T P P の影響とその対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 県が農林水産物への影響額を発表したが、本市の影響額は試算されているのか</li> <li>(2) 農業収入の減収は農家経営を直撃する。対策を求める</li> <li>(3) T P P の批准を中止するよう国に求めること</li> </ul> <p>4 市の道路管理、河川管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 市民要望の改良、修繕、舗装の単独市費の工事については早期に着手、完成するよう予算確保を求める</li> <li>(2) 工事の年次計画を公表するよう求める</li> <li>(3) 業者や個人がボランティアで除雪を行う場合には、燃料費及び機械借り上げ料を支給する対応はできないか</li> </ul>
6	3	12 番 川 上 修 一	<p>1 備中中学校の統合について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 市長の政治的判断を問う</li> </ul> <p>2 有害鳥獣駆除について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 有害鳥獣については、年々被害が拡大しているのが現状であるが、市としてどのように思われているか</li> <li>(2) わな猟はふえているが、銃の所持者が激減していることについて、市の対策を問う</li> </ul> <p>3 県道新見川上線について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 先般、旧川上郡の議員の署名を付し要望書を県知事に提出した。その後の対応について、市のほうに情報が入っていればお聞かせ願いたい</li> <li>(2) 県道新見川上線（角子惣田）の災害がいつになれば通常走行ができるようになるのか。県からの情報が入っていれば、お聞かせ願う</li> <li>(3) 中学校統合においても早急な改良をし、安心・安全な通学ができなければならないと思うがどうか</li> </ul>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
7	11	13番 長 江 和 幸	<p>1 備中中学校、成羽中学校統合について</p> <p>(1) 統合時期について、地域、まちづくり協議会の方から意見として何も聞いていないとの発言があったが、事実ならば今後懇談会を開く予定があるのか</p> <p>(2) 懇談会へは教育委員も同席するべきと思うが、考えを問う</p> <p>(3) 統合により加配教員での2学級編成が可能となると思うがどうか</p> <p>(4) 支援を必要とする生徒への対応を問う</p> <p>(5) 統合後の校名を高梁西中学校とすることはできないか</p> <p>2 教育施策について</p> <p>(1) 子供の貧困と学力</p> <p>① 貧困は連鎖するとも言われている。学力がつかないとも言われている。相対的貧困、絶対的貧困の定義を問う</p> <p>② 経済的な要因で学習する機会を失うことがないようにするのが市の役目だと思うが、対応を問う</p> <p>(2) 現在山田方谷伝を放送しているが、もう一步踏みこんでDVDで学習機会の提供をと思うが、市の考えを問う。あわせて方谷の理財論を道徳教育に生かしてはどうか</p> <p>(3) 学習サポート教室への参加をうながすためにも、土曜日の部活動、少年団活動の自粛をと思うが、市の考えを問う。また、塾へ行っている児童、生徒数を把握しているのか</p> <p>(4) 運動会の花、組体操で事故が多発している。文部科学省が安全配慮義務を指摘しているが、教育委員会の今後の取り組みを問う</p> <p>(5) 法令順守、学力向上のための教職員研修を実施されているのか問う</p>
8	13	7番 大 森 一 生	<p>1 今の行政に求められる公共経営論とリーダーシップ論について</p> <p>(1) 急激な人口減少、少子・高齢化、そしてそれに伴う経済の縮小など、私たちを取り巻く環境は非常に厳しい状況にある。そのような中で、新図書館を核にした駅前複合施設などの大型公共インフラ整備が佳境にある。近藤市長の描く高梁市の未来予想図とはどのようなものなのか。これからの公共経営論とそのリーダーシップ論を聞く</p> <p>2 新図書館を核にした駅前複合施設の指定管理と地域創生について</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
8	13	7番 大 森 一 生	<p>(1) 人口減少と自治体消滅に端を発した地域創生。新図書館、複合施設建設をその課題解決のための新たな魅力づくりにしている。交流人口、人がふえれば活性化につながるのか。公共とCCCの民間投資の負担割合、政策分析（経済効果分析）、フリーライダー問題について聞く</p> <p>(2) にぎわいの創出といった従来の図書館とは違った機能が求められていることは理解できる。しかし、本来の公共図書館としての充実が担保されることがその前提にあるべきだと思う。これまでの中央図書館の課題解決にどのように取り組んできたのか</p> <p>(3) 新たな魅力づくりの手段としてCCCを指定管理者にしようとしているが、実績のない会社に任せても大丈夫なのか。武雄市をはじめ各地で訴訟問題、住民投票に発展しているが、そのような経過をどう捉えているのか。また、CCCの公共図書館運営の新たな取り組みや実績を具体的に聞く</p> <p>(4) 他の公共図書館では地域の持っているものを生かしながら運営しているところも多い。地域創生で問われているのは、中心市街地と周辺部とのセットでのにぎわい創出戦略だと思うが、どのように考えているのか</p> <p>(5) 公共施設の最大の目的は住民福祉の増進である。駅前ににぎわいの創出と新図書館が現状を打破するのであるなら大いに賛成する。しかし、市民が選択のチャンスを持てなかったことのリスク、損失は大変大きいと思う。指定管理予定者であるCCCの図書館運営の中身は、見かけのにぎわい、空間演出以上にお粗末なものであることがわかった。このことは指定管理予定者の選定期間にはわからなかったかもしれないが、改めて6月までにCCCを含めて公募してはどうか</p>
9	12	1番 石 井 聡 美	<p>1 高梁市まち・ひと・しごと総合戦略について</p> <p>(1) 地方創生のための総合戦略は結果を求められるが、各分野で結果を出すための具体的なマイルストーンを問う</p> <p>(2) 高梁市にとって重点項目である雇用の確保について、サービス産業分野での具体的な戦略を問う</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
9	12	1番 石井聡美	<p>2 子育て、教育支援について</p> <p>(1) 子供の貧困が取りざたされているが、本市の貧困率はいくらか。現状と対応を問う</p> <p>(2) いわゆる「小一問題」に対する見解を問う</p> <p>(3) 県とも協力し、小中学校と高校が連携して、高梁市全体の教育環境の底上げを考えていくべきではないか</p> <p>3 駅前の振興について</p> <p>(1) 高梁市図書館開館と連携した商業振興策を問う</p> <p>(2) 駅東口側の今後の商業振興策を問う</p>
10	7	17番 大月健一	<p>1 公図の赤線、青線について</p> <p>(1) 土地の登記関連で、法務局の公図には赤線で地番のない道路があり、里道とも言われ道路台帳に登録されていない認定外道路である。青線は水路である。これらは法定外公共物、国有財産であったが、順次市町村へ移管されている。市としての管理を問う</p> <p>2 行政防災無線システムについて</p> <p>(1) 防災行政無線システムは自治体が災害時に情報伝達と情報収集を迅速に行うための通信ネットワークシステムであると思うが、防災ラジオでは余り市民に伝わらないと思う。災害は必ず来る。市民に一早く、いかにして伝えるかが大切だと思うが、市の考えを問う</p> <p>3 災害箇所の総点検について</p> <p>(1) 東日本大震災から得た教訓をもとに、今後市としても各地区の総点検が要る。ゲリラ豪雨で思わぬ所が崩れ土石流が出た。橋、家屋の裏山、谷の水捌けが悪い流末、途中で水路が無くなっているところがあり、このままでは多くの被害が出ると思うが、市の対応を問う</p> <p>4 市の教育方針について</p> <p>(1) 先般第5回おかやま新聞コンクールがあり全部で14,169点の応募があったが、本市からの応募者が少ないように思う。教育委員会では余り重視していないのか。もう少し読み書きそろばんを重視してはいかがか、教育長の所見を問う</p> <p>5 観光客のおもてなしについて</p> <p>(1) 今や天空の城と吹屋ふるさと村で多くの観光客が訪れているが、食事をする所がない。旧「ゆ・ら・ら」を団体客の食事場所にできないか。また、道の駅のような特産品販売施設にできないか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
11	10	16 番 宮 田 公 人	<p>1 人口減少を見込んだ行財政運営のあり方について</p> <p>(1) 平成 27 年国勢調査の岡山県速報値が出されているが、本市の状況をどのように分析しているのか示すこと</p> <p>(2) 人口減少が続く中、ゴミ焼却炉更新問題や水道会計の統合など、市民生活に直接かかわる行政サービスへのコスト投入は避けて通ることはできない。加えて、成羽高等学校跡地への認定こども園と養護老人ホームの移設など、ハードへの公共投資が計画されつつある。今後の人口減少社会を考えると、総合計画への記載の有無にかかわらず事業計画の一時凍結やスケジュール変更が必要ではないか。平成 27 年 7 月に示された高梁市中期財政見通しや行財政改革大綱との関連も含めて今後の方針を示すこと</p> <p>2 高梁市の目指す図書館像と高梁市駅前ライブラリー&amp;カフェ計画との整合性について</p> <p>(1) 2 月 22 日、高梁市図書館指定管理業務協定書（案）の説明がなされたが、市民の文化向上という視点から高梁市駅前ライブラリー&amp;カフェ計画に示された 20 万人という数値目標も含めて新図書館の目指す方向性を改めて示すこと</p> <p>(2) 複合施設中の商業スペースの行政目的の位置づけをどう考えるのか。また、テナントとの関係で収益部分についてはテナント料を徴収するのか</p> <p>(3) 年間 20 万人の図書館来館者数の計画であるが、カウント方法について示すこと</p> <p>(4) 指定管理料との関係で、20 万人の図書館来館者が達成できなかった場合のペナルティーをどのように考えるのか示すこと</p> <p>(5) 図書館における司書の能力は蔵書数以上に大切であると考えますが、これまでの資料では新図書館職員の待遇についてうかがい知ることができない。必要な人員を確保できる待遇となっているのか</p> <p>(6) 今後の厳しい財政運営を考えると、年間 1 億 6,000 万円にのぼる指定管理料を支払い続けることは、市民にとって大きな負担になると考えるが、執行部の見解を示すこと</p> <p>(7) 今回の計画推進に当たっては、CCC からの提案書の内容が広く一般に公開されないなど市民が能動的にかかわることができなかったのではないかと疑問が残る。新図書館が開館した後どのようにして市民が直接かかわることのできる仕組みをつくるのか示すこと</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1 1	1 0	16 番 宮 田 公 人	<p>3 地域の特性を生かした旧「ゆ・ら・ら」の再活用方法について</p> <p>(1) 市の資料によると、神原荘の年度別利用者数は平成 22 年度から平成 26 年度にかけて 4,969 人、5,227 人、6,553 人、5,696 人、5,086 人となっている。また、神原スポーツ公園の年度別利用状況は、平成 24 年からの 3 年間で 27,779 人、20,040 人、20,272 人と推移しており、市内において多くの交流人口を有していることが理解できる。こうした状況をどのように分析しているのか示すこと</p> <p>(2) 旧「ゆ・ら・ら」の再活用にかかわる取り組みの中で、大広間を活用したスポーツ合宿を奨励した時期があったが、この取り組みについてどのような検証を行ったのか示すこと</p> <p>(3) 旧「ゆ・ら・ら」の活用については、施設単体でなく神原スポーツ公園全体を俯瞰した活用策を考えることが不可欠だと考える。具体的には、現在の神原荘の宿泊機能を旧「ゆ・ら・ら」に隣接する形で移設し宿泊機能を備えた施設とすることが妥当と考えるが、これについて執行部の見解を示すこと</p>
1 2	1 4	3 番 石 部 誠	<p>1 水道料金の引き上げについて</p> <p>(1) 上水道と簡易水道の統合と料金改定について、経過と今後の予定を問う</p> <p>(2) 今回の国の示す緩和と延長について、市の対応と対策を問う</p> <p>(3) 現在でも他市との比較で市民負担が多いが、市民や水道経営審議会での委員の声をどのように反映させるのか</p> <p>(4) 計画的に簡易水道料金を上水道料金並みに引き下げること、また一人暮らしのお年寄りや学生など水を多く使わない方たちのために、基本水量を 10 トンから 5 トン程度に引き下げ負担を減らすことを望む</p> <p>2 高梁中央図書館について</p> <p>(1) 総合計画の図書館に関する記述では、2006 年「教育・文化行政を推進するための中核施設として新しい図書館」、2010 年「生涯学習の拠点施設として新しい図書館を建設整備」、2015 年「誰もが気軽に立ち寄り、本に親しむことができるように、駅前複合施設の中へ、生涯学習の拠点施設である新図書館を整備」と変わってきたが、本来図書館が市民生活に果たす役割について、どのように考えるか</p>



順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1 2	1 4	3 番 石 部 誠	<p>(2) 中央図書館としての機能を持った新図書館とは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 今進めている新図書館は教育施設なのか商業施設なのか。CCCへは何を期待するのか</li> <li>② 新図書館以外の成羽図書館、各公民館、各学校図書室の充実について、どのような計画をされているのか</li> <li>③ 吉備国際大学との連携について、具体的計画はあるのか</li> <li>④ 市民ボランティアの活動支援はCCCが行うのか教育委員会が行うのか</li> <li>⑤ 図書館内外で活動する市民参加組織「図書館サポーターズ」の育成が必要ではないか</li> </ul> <p>(3) CCCとの指定管理業務協定書について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 市立図書館でありながら、公務員は一人もいない問題について、どのように考えるのか</li> <li>② 自治体と市民とCCCの3つに分離されるが、効率性や意思疎通が運営における懸念とならないか</li> <li>③ レファレンス機能、課題解決支援サービスをどのように担保するのか</li> <li>④ 指定管理業務協定書にある図書館での企画や行事の提案、そして実行は誰が行うのか</li> <li>⑤ 指定管理業務協定書にある学校図書館の研修会や講座について、市民要望の聴取、企画立案は誰が行うのか</li> <li>⑥ 指定管理業務協定書にある市の文化施設などを活用しての自主事業とは具体的には何を指し、どの程度の開催を想定しているのか</li> <li>⑦ 指定管理業務協定書にある市民団体や地元企業などと地域ならではの情報収集と、資料や情報の活用（展示）とあるが、教育委員会が主導するのかCCCが行うのか</li> <li>⑧ 図書館長の任命は誰がどのように行うのか</li> <li>⑨ 教育委員会に図書館へ対応する部署を設けると説明されたが、業務内容と人員と予算はいくらか</li> <li>⑩ 5年の契約期間であり、業務の継続性が担保できないのではないか</li> <li>⑪ CCC撤退後の他の事業者による指定管理や直営を想定した場合、改装コストの負担や運営維持はできるのか</li> </ul>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1 2	1 4	3 番 石 部 誠	<p>(4) 駅前複合施設の機能について</p> <p>① 駅待合室がない問題、昇り専用エスカレーター 2 基設置の問題、トイレが遠い問題、高齢者及び障害者の方へ配慮された駅の待合機能とバリアフリーはどうなるのか</p> <p>② 図書館専用駐車場がないが、どのような運営を考慮するのか</p> <p>(5) 経済効果と CCC の経験について</p> <p>① 新図書館の指定管理料の年 1 億 6,000 万円は適正か</p> <p>② 各テナントの工事費と工事費の負担はいくらか</p> <p>③ 各テナントとの契約と管理は誰が行うのか、家賃はいくらか</p> <p>④ 地元書店から図書を購入とあるが、書店は今より不利益になることはないのか</p> <p>⑤ 図書分類が CCC は他の図書館と違うが、問題は起きないのか</p> <p>⑥ CCC が海老名市立図書館でプライバシーマークを返上したと報道されていたが、その問題をどのように考えるか。高梁市の対応は</p> <p>(6) CCC 指定管理の問題点と今後のあり方について</p> <p>① 図書館の本来の業務は生涯学習である。にぎわいの創出はその一部分である。図書館の理念と機能を自治体を守ることができるのか。履行させることができるのか</p> <p>② CCC は他の図書館で問題が発生しているが、どのように受けとめるのか</p> <p>③ 今からでも専門家、市民団体、一般市民が参加できる協議体をつくり、市民参加ができる運営にすべきではないか</p> <p>④ 一度 CCC との関係を脇に置いて再検討するべきではないか</p>
1 3	9	18 番 妹 尾 直 言	<p>1 図書館の指定管理について</p> <p>(1) 全国的に CCC (ツタヤ) の問題が起きてきている中で、高梁市だけは大丈夫だと言い切れるのか。CCC (ツタヤ) の企業目的のために高梁市が食い物になってしまうのではないか</p> <p>(2) 高梁市の端々の地域の補助金を削って CCC (ツタヤ) へ年間 1 億 6,000 万円もの指定管理料を払って駅周辺だけがにぎわっても、高梁市の活性化にはならないのではないか。結果、周辺地域のコミュニティーが壊れていってしまう</p> <p>(3) 自治の崩壊になりかねない CCC (ツタヤ) への図書館の指定管理はやめるべきではないか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
14	8	8番 内 田 大 治	<p>1 ふるさと納税について</p> <p>(1) 本市のふるさと納税の寄附額は平成27年度上半期の集計で県下15市中最低位である。この現状をどのように認識しているのか</p> <p>(2) ふるさと納税は目的を持った事業に対する寄附金と返礼品に魅力を感じての寄附金とに分けられると考える。本市はどのように取り組みをしているのか</p> <p>(3) ふるさと納税の寄附額を増額するために、寄附者にとって魅力ある本市の特産品を返礼品とし、地域経済へ効果が波及する取り組みをすべきではないか</p> <p>2 農業施策について</p> <p>(1) 国のTPP大筋合意を受けて、県は自治体関係者にTPPの影響について説明会を実施した。農林水産物の影響について聞く</p> <p>(2) 本市の主要産物である米、トマト、ブドウ、モモへの影響について、どのように捉えているのか</p> <p>(3) 本市はこれらの影響について、今後どのような施策を持って取り組みをするのか</p> <p>(4) 農政は大きな変革期を迎えている。対応するためには担い手の育成が重要であり、課題でもある。本市では今後どのような取り組みをするのか</p>